



2023年4月刊行

フランス映画史で唯一無二の監督サッシャ・ギトリの評伝決定版！

梅本洋一

サッシャ・ギトリ 都市・演劇・映画 〈増補新版〉

〔編〕坂本安美 | 四六判並製 | 394頁(本文392頁+口絵2頁) | 定価(本体3,600円+税) | 〔装幀〕宮一紀 | ISBN978-4-908435-19-5 C3074 | 〔発行・発売〕ソリレス書店  
 ◎1990年に勁草書房より刊行された梅本洋一著『サッシャ・ギトリ—都市・演劇・映画』に、補論・付録・解説・フィルモグラフィ・全作品解説などを追加した新版



これ一本というなら、  
 男の色気が匂いたつ『デジレ』(1937)を選ぶが、  
 ギトリというからには、  
 全部見なければまったく意味がない。  
 そのための最良の手引きが、これだ！  
 —蓮實重彦(映画批評家)

〔目次〕

本論 |

サッシャ・ギトリ 都市・演劇・映画  
 勁草書房版あとがき/サッシャ・ギトリ関係年譜

補論 |

JDについての4枚の肖像/『ナポレオン』をめぐって

付録 |

フランソワ・トリュフォー サッシャ・ギトリはリアリズムの偉大な映画作家だった

解説 |

オリヴィエ・アサイヤス サッシャー梅本洋一の思い出に捧ぐ  
 青山真治 「自作自演」について考えるためにギトリを考える  
 サッシャ・ギトリ略歴/フィルモグラフィ&作品解説/サッシャ・ギトリ主要書誌情報

サッシャ・ギトリ Sacha Guitry (1885-1957)。19世紀の大俳優リュシアン・ギトリの息子として生まれたサッシャ。50年間にわたって自らの手になる130本余の戯曲に主演し、パリの演劇界に君臨したサッシャ。映画を嫌悪しつつ生涯に33本の映画を残す映画作家サッシャ。結婚と離婚を何度も反復するサッシャ。美術館のような大邸宅の主サッシャ。本書が描くのはサッシャの複数の身体である。(勁草書房版帯文より)

著者によるエッセイ、講演の採録ほか、トリュフォーがギトリに捧げた追悼文、オリヴィエ・アサイヤス、青山真治による寄稿、充実のフィルモグラフィ&全作品解説など、大幅増補！

梅本洋一(うめもと よういち) [1953-2013] —映画批評家。1991年に映画批評誌「カイエ・デュ・シネマ・ジャポン」(フィルムアート社、のち勁草書房)を創刊、2001年の休刊まで編集代表を務める。同誌での批評活動を通じて、海外の映画作家を紹介するだけでなく、黒沢清、青山真治ら日本の映画作家の作品を海外で上映・紹介した。主な著書に『映画は判ってくれない』(フィルムアート社)、『映画のたのしみ』(青土社)、『映画をつなぎとめるために』(勁草書房)、『映画=日誌 ロードムーヴィーのように』(フィルムアート社)、『映画旅日記 パリー=東京』(青土社)など。

http://tsubamebook.com

▶ご注文はツバメ出版流通まで **FAX: 03-3721-1922** TEL: 03-6715-6121 MAIL: info@tsubamebook.com

貴店名(番線印)   ご担当: 様 冊	〔発売元〕ソリレス書店 ●返品条件付注文扱い ●返品了解 ツバメ出版流通: 川人
	新刊 <b>サッシャ・ギトリ 〈増補新版〉</b> —都市・演劇・映画 梅本洋一 [著] 坂本安美 [編] 定価(本体3,600円+税)・四六判並製・394頁 ISBN978-4-908435-19-5 C3074